

子どものためのアンケート（2回目）結果のお知らせ

学校教育目標

「人との関わり・つながりの中で自分を高める 実行力の育成」
～集団や地域での学びを、「なりたい自分」につなげる 強さを育てる～

保護者の皆様にはお忙しい中、「子どものためのアンケート②」にご協力いただきありがとうございます。結果の概要をお知らせいたします。なお、今回の結果やいただいたご意見は、教職員で共通理解を図るとともに、2月26日（水）に開催された「学校運営協議会」でも話題にさせていただきました。今後とも、本校の教育活動の推進にご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

【アンケート結果の項目について】

アンケート結果として取り上げた4つの項目は、7月に実施した「子どものためのアンケート①」で取り上げた項目と、同じ項目を取り上げております。紙面の都合上、全項目は掲載しておりませんのでご了承ください。

(A:よくできている B:大体できている C:あまりできていない D:できていない E:わからない)

児童		A	B	C	D	E	保護者		A	B	C	D	E	教職員		A	B	C	D	E
学校ではひとりひとりが大切にされている	前回	42.3%	42.3%	5.6%	2.4%	7.4%	学校は、子どもひとりひとりを大切にした教育を進めている。	前回	25.3%	58.4%	6.9%	2.1%	7.2%	子どもひとりひとりを大切にした教育を進めている。	前回	53.1%	40.6%	3.1%	0%	3.1%
	今回	43.2%	41.3%	7.4%	2.8%	5.3%		今回	25.3%	60.4%	6.4%	3.1%	4.9%		今回	43.3%	53.3%	3.3%	0%	0%
宿題など、家庭学習をする時間を決めて取り組んでいる。	前回	38.9	30.1	16.2	9.8	5	子どもは、宿題などの家庭学習の習慣が定着している。	前回	29.8	56.6	8.5	5.1	0	子どもは、宿題などの家庭学習の習慣が定着している。	前回	28.1	62.5	3.1	0	6.3
	今回	36.4	30.2	17.8	11.6	4		今回	33.6	50.1	11.2	4.6	0.5		今回	16.1	64.5	12.9	0	6.5
自分のよいところがいえる。	前回	34.8	30.3	15.4	9.5	10	家庭で、子どものよさを認め、ほめている。	前回	22.1	60.3	15.7	0.8	1.1	学校・教室で、子どもたちのよさを認め、ほめている。	前回	56.3	37.5	3.1	0	3.1
	今回	33.3	31.8	17.2	11.5	6.1		今回	21.5	59.8	17.1	0.5	1		今回	50	50	0	0	0
がんばることを見つけて、努力している。ちょうせんしている。	前回	62.8	23.8	7.3	0.9	5.2	子どもは「なりたい自分」や「将来の夢」の実現に向けて努力している。	前回	16.9	44.8	24.4	5.4	8.6	子どもたちに「なりたい自分」や「将来のゆめ」の実現に向けて努力することの大切さを話している。	前回	25	50	15.6	3.1	6.3
	今回	61.9	24.8	8.1	2.5	2.7		今回	17.4	44.4	23.5	6.3	8.3		今回	32.3	51.6	12.9	0	3.2

【学校ではひとりひとりが大切にされている】

児童・保護者ともに、「よくできている・大体できている」が85%前後で、前回のアンケートと比べてもほとんど変化はありません。ただ、児童の「あまりできていない」の回答が1.8ポイントの増加、保護者の「できていない」の回答も1ポイント増加が見られます。この項目は、学校教育の基盤であり、子どもたちが気持ちよく安心して学校生活を送っていく最も大事な視点の一つです。子どもたちが出しているサインを見逃さないように全教職員で子どもたちを見守り、全教育活動を通して、一人一人を大切にした学校づくりに取り組んでいきます。

【宿題など、家庭学習をする時間を決めて取り組んでいる】

児童の「よくできている」の回答が、前回に比べ2.5ポイント減少しています。保護者・教職員の「あまりできていない」の回答が増加しています。新しい学年がスタートした1学期に比べ、子どもたちの学習意欲が低下していたり、2学期は学校行事が多く、落ち着いて学習に向かえていなかったりしたことが考えられます。学校で学習したことを家庭で反復して練習していく、また学校でも復習したりちがう時間に活用したりすることを繰り返すことで、学んだことがだんだんと定着していきます。家庭学習をするという毎日の習慣づくりをおこなっていくためにも、ご家庭でもお声かけいただくことはもちろん、学校でも高学年を中心に、自分自身で時間管理ができるような指導を工夫していきたいと考えています。

【自分のよいところがいえる】

児童の「あまりできていない・できていない」の回答が、前回に比べ2ポイント増加しています。どの学年も学習が進むにしたがって、学習する内容が増え、「むずかしい」「身についていない」と思ったり、自信をなくしたりしがちです。今回のアンケートでも保護者・教職員は80%以上が「よさを認め、ほめている」という回答をしています。子どもたちの自己有用感や自尊感情を高めるため、認めほめることと同時に、失敗したときや困難に立ち向かうときに、失敗しないようにすぐに手を貸してしまうのではなく、大人が励まし、支え、見守ることも大切だと考えます。

【がんばることを見つけて、努力している。ちょうせんしている】

児童・保護者ともに、「よくできている・大体できている」が、前回と比べてほとんど変化がないのに対し、教職員は9ポイントほど増加しています。2学期は運動会や学習発表会などの学校行事も多く、それに向けて集団として取り組む機会が増えました。今後も、行事に向かって取り組むプロセスを大切にし、自分たちの成長を振り返ることで、次の活動への意欲やがんばりにつなげていけるよう取り組んでいきます。